

和歌山大学岸和田サテライト事業報告 2017

(平成 29 年度)



はじめに

和歌山大学は、大阪府岸和田市との地域連携推進協定にもとづき、2006年4月、岸和田市立浪切ホールに岸和田サテライトを開設しました。岸和田サテライトでは、和歌山大学の学部開放授業（教養科目）・大学院経済学研究科授業および専門研究・公開講座等を開講・実施し、地域のみなさんに高等教育・生涯学習の機会を提供しているほか、地域課題の解決に向けた各種の研究や連携事業を展開しています。

2017年度は、本学と岸和田市との連携の指針となる「和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン2014-2023、同アクションプラン」に沿って、戦略的・計画的な事業運営に取り組みました。このビジョンおよびプランは、本学と岸和田市との連携の目的である4つの「目指す姿」を軸に、それらを実現するための各種事業および組織運営の充実を図るために策定したものです。

岸和田サテライトの各種事業は、自主事業としての活動と、本学の各部局が岸和田市を中心とした大阪府南部（泉州地域）で事業を実施する際の調整・協力等の諸活動からなっています。

本事業報告においては、前者の事業活動に重点をおきつつ、地域における本学の教育研究および連携活動等の概要を、上記の4つの「目指す姿」に沿って報告しています。

今後ともサテライト事業にご支援・ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

2018年4月

和歌山大学岸和田サテライト代表 藤田 和史（経済学部准教授）

事業体系表

(和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン・同アクションプランに沿った事業分類)

目指す姿		事業分類					
I	高等教育機能を 発揮している	1	高等教育事業	1-1	大学授業の開講	1-1-1	高度職業人養成型授業の開講
						1-1-2	地域課題探求型授業の開講
						1-1-3	文化・教養型授業の開講
				1-2	学習環境の充実	1-2-1	学習環境の充実
II	市民の生涯学習 活動をサポート している	2	生涯学習機会 の提供	2-1	わだいなぎサロ ンの充実	2-1-1	継続実施と新たな展開
						2-1-2	戦略的な周知活動
				2-2	セミナー等の 開催	2-2-1	セミナー等の開催
III	地域課題の発見 と解決・大学の知 的資源と住民の 交流をサポート している	3	地域研究事業	3-1	地域研究事業	3-1-1	地域課題の解決に向き合う事業の 実施
						4	各種連携
		4-1-2	生涯学習分野・まちづくり分野の 連携促進				
		4-1-3	連携ひろば「ワダイ×キシワダ」の運 営				
		4-2	岸和田サテライ ト友の会への 支援	4-2-1	友の会の活動促進、地域との連携		
		IV	持続可能な連携 組織となっている	5	組織体制・財政	5-1	戦略的な組織 体制
5-1-2	大学の連携体制の強化						
5-1-3	市の連携体制の強化						
5-2	事務局機能の 充実					5-2-1	事務局機能の充実
5-3	財政運営					5-3-1	持続可能な財政運営の検討
5-4	効果的な広報 活動					5-4-1	多様なチャンネルによる戦略的 広報の実施
6	事業立地			6-1	事業立地	6-1-1	事業立地の検討

目 次

事業体系表（和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン・同アクションプランに沿った事業分類）

1	高等教育事業	
(1)	学部開放授業	1
(2)	大学院授業	3
(3)	大学院経済学研究科修士課程	4
(4)	学習環境の充実	4
2	生涯学習機会の提供	
(1)	わだい浪切サロン	5
3	地域研究事業	
(1)	GIS活用プログラム	10
(2)	オープンデータの取り組み	10
(3)	主権者教育プログラム	11
4	各種連携	
(1)	学校教育分野	13
(2)	生涯学習・まちづくり分野・産学連携分野	13
(3)	岸和田サテライト友の会の活動支援	14
5	組織体制・事務局機能	
(1)	組織的な連携推進	17
(2)	地域連携コーディネーターの活動	18
(3)	広報活動・各種協力	19
(4)	地域からの問い合わせ対応	20

資料編

目次/A 開講授業データ/B 事業告知チラシ/C 岸和田市附属機関委員等の就任状況/D 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿/E 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿/F 連携ひろばワダイ×キシワダ会員名簿/G 和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿

1 高等教育事業 目指す姿 I : 高等教育機能を発揮している

和歌山大学岸和田サテライトでは、本学が有する高等教育機能を活用して、社会人の学び直し・地域課題の探求やスキルアップなど、大人の学習ニーズに即した学部開放授業（教養科目）と大学院授業（経済学研究科）を開講しています。

2017年度は、学部開放授業4科目と大学院授業8科目を開講し、受講・履修者はのべ177名でした。授業は、土曜日と平日夜間に浪切ホールで開講しています。

(1) 学部開放授業

（「教養の森」センター）

18歳以上の方を対象に、本学「教養の森」センターのサテライト科目を学部開放授業として開講しています。〈地域課題探求型科目〉、〈文化・教養型科目〉の2系統の授業を開講し、社会人と本学の学部生が履修しています。

学期	科目名	担当学部	担当教員	受講者数
前期	泉南の自然とその再生 地形・地質と干潟生物 〈地域課題探求型科目〉	教育学部	此松 昌彦 古賀 庸憲	24 (3)
	文化資源と地域再生 (アゴラセミナーIB) 〈文化・教養型科目〉	教育学部他	菊川 恵三・大橋 直義 (和歌山大学) 西田 正宏・青木賜鶴子 前川 真行 (大阪府立大学)	40 (24)

(内：学部学生数)

■ 「泉南の自然とその再生：地形・地質と干潟生物」

岸和田を含む泉南地域には比較的良好な自然が残っており、また一部再生も進められている。生き物とそれを育む地形について知見を広めることで、これらを次世代にどう残しているのか考えました。(写真上)



■ 「文化資源と地域再生」

和歌山県を中心にその周辺地域（泉佐野市や岸和田市等）には、多くの文化資源が残っている。さまざまな文化資源を取り上げ、その内実を知るとともに、その有効性について考察しました。この授業は、和歌山大学と大阪府立大学の協働で実施し、大阪府立大学からも多くの学生が参加しました(写真下)



学期	科目名	担当学部	担当教員	受講者数
後期	食農地域づくり入門 ＜地域課題探求型科目＞	経済学部他	岸上 光克 大西 敏夫 辻 和良 植田 淳子	13 (3)
	地域課題へのむきあい方 ＜文化・教養型科目＞	経済学部他	藤田 和史 西川 一弘 佐藤 祐介	17 (3)

(内：学部学生数)

■食農地域づくり入門

日本の豊かな食を支える農業・農村は高齢化や過疎による人口減少により危機的状況にあります。そのような中、「地方創生」の旗印のもと国も農業・農村を応援しています。食と農の関係性の変化を把握するとともに、農業経営や都市農村交流、そして地域づくりについて現状と課題を把握し、今後の展開について検討しました。現地実習では、JA いずみのさんの農産物直売所「愛彩ランド」の取り組みを見学しました。



■地域課題へのむきあい方

地域社会においては、課題が山積みしています。それらの課題に対して、大学という知的資源は、課題の改善、解決を目指す様々な実践を展開しています。それらを地方都市の事例や大学と地域との連携事例を通じて、地域の課題へのむきあい方を学びました。授業の中では、自分たちに直接関係する「岸和田・泉州地域が抱える課題」についてグループワークをし、解決について考えました。



(2) 大学院授業

(経済学部研究科)

大学院授業では、経済学研究科による〈高度職業人養成型科目〉、〈地域課題探求型科目〉を開講し、幅広い年代の社会人科目等履修生および大学院生がともに学んでいます。高度職業人養成型科目は、将来の修士課程進学を視野に入れた科目等履修生が多く、地域課題探求型科目の一部は、(大阪市、堺市を除く)大阪府内地方自治体職員の研究研修事業(マッセ OSAKA「地方分権ゼミナール」)としても活用されています。

学期	科目名	担当教員	受講者数
前期	所得税法特殊問題	米村 忠司	9 (8)
	法人税法特殊問題	片山 直子	13 (8)
	管理会計論特殊問題	妹尾 剛好	10 (8)
	歴史でみる現代経済	今田 秀作 ・ 長廣 利崇	10 (7)
	アメリカ政治経済	藤木 剛康	13 (11)

学期	科目名	担当教員	受講者数
後期	租税法実務特殊問題	近畿税理士会	7 (5)
	情報処理論特殊問題	芦田 昌也	9 (6)
	制度会計論特殊問題	山田 恵一	12 (8)

(内：大学院生数)



「アメリカ政治経済」



「歴史でみる現代経済」

(3) 大学院経済学研究科修士課程

2017年度、税理士を目指す院生が岸和田サテライトで租税法の研究指導（平日夜間開講）を受けました。

学期	科目名	担当教員	受講者数
通年	専門研究Ⅰ・Ⅱおよび修士論文	片山 直子	5
通年	専門研究Ⅰ・Ⅱおよび修士論文	米村忠司	7

(4) 学習環境の充実

■サテライト図書資料

大学院・学部授業のテキスト・参考文献をはじめ、租税法院生の研究に必要な専門書や大学と地域の連携に関する図書を中心に購入し、蔵書の充実に努めています。2017度は、購入図書23冊、その他各学部の定期刊行物の受入れ、本学教員の抜き刷り論文、他大学の報告書などの受け入れがありました。



■サテライト自習室

大学院生、科目等履修生を中心に、2017年4月～2018年3月に60件の利用があり、論文執筆や資料検索等のために自習室が有効に活用されました。



2 生涯学習機会の提供 目指す姿Ⅱ：市民の生涯学習活動をサポートしている

(1) わだい浪切サロン

毎月第3水曜日の夜(2月と8月を除く)、年間10回の“mini 和歌山大学”を開催しています。「わだい浪切サロン」は地域への本学の教育・研究活動のPRの場としての役割を果たすとともに、住民の多様な関心に応える学習と交流の機会として定着しています。

(所属・職名は当時)

回	月日	内 容	話題提供者(所属)	参加数
91	4. 19	新学習指導要領で英語教育は どうなる? どうする?	江利川 春雄 (教育学部教授)	64
92	5. 17	音をとおして関わる ～音楽療法が私たちに気付かせてくれること～	上野 智子(経済学部准教授) 菅 道子(教育学部教授)	56
93	6. 21	場所と住まい ～紀の国住宅プロジェクトで考えていること～	高砂 正弘 (システム工学部教授)	34
94	7. 19	「日本庭園」のデザイン —その誕生と変遷	小野 健吉 (観光学部教授)	62
95	9. 20	災害救助ロボット ～夢の実現に向けて～	徳田 献一 (システム工学部講師)	41
96	10. 18	植物の機能とヒトの知恵	杵本 敏男 (食農総合研究所特任教授)	44
97	11. 15	人と自然が共生した地域づくり ～環境ビジネスに目覚めた中国と、お尻に火がついてしまった? 日本～	中島 敦司 (システム工学部 教授)	38
98	12. 20	スポーツツーリズムと 関西ワールドマスターズゲームズ	伊藤 央二 (観光学部講師)	29
99	1. 17	否定しないコミュニケーション ～子ども家庭支援の実践から～	衣斐 哲臣 (教育学部教職大学院教授)	47
100	3. 21	第1部: データのチカラで子育てが楽しくなるま ちづくり 第2部: 紀伊半島と西国順礼—縁起・旅・書物—	満田成紀(システム工学部准教授) ・長谷川秀美氏(NPO 法人 ここから Kit) ・子育て中のマ マ 大橋 直義(教育学部准教授)	62 59

年間参加者合計 536名

わだいな浪切サロン」参加者アンケート（感想）から

◆ 第91回「新学習指導要領で英語教育はどうか？ どうするか？」

・とても説明が上手で説得力がありました。新学習指導要領のあやうさが、よくわかりました。現場で落ちこぼれる生徒を見るのはつらいので、アクティブラーニングの研修を校内ですすめていきたいと思いました。(40代・女性)

・教員です。今日は大変勉強になりました。上位1割のための指導要領に振り回されないように10割の子供のためになる授業づくりを研究していきたいです。またぜひ岸和田でご講演下さい。

(50代・女性)

◆ 第92回「音をとおして関わる～音楽療法が私たちに気付かせてくれること」

・普段なにげなく聞いている音楽ですが、それも音楽療法のひとつなのだと思います(40代・女性)



・実際に自分も参加しての表現はとてもわくわくして楽しかったです。何でも誰とでも作り上げていくことができるのだと思いました。(40代・女性)

◆ 第93回「場所と住まい～紀の国住宅プロジェクトで考えていること～」

・空調や照明を意識させない家は、斬新と思われた。高齢化社会を意識した話があると、有難かったと思った。(40代・男性)



・日本の昔ながらの住宅が素晴らしいと思っていましたが、不便な部分も多いと思っていました。日本の住宅の素晴らしい部分も活かし、現状・土地の形状に合わせて建てられているのがよいと思いました。(20代・女性)

◆ 第94回「日本庭園のデザイナー～その誕生と変遷」

・日本にあるから日本庭園と呼ばれているわけではないということが良くわかる説明でした。一番驚いたことは、日本だと思っていた場所がパリにある日本庭園だったことでした。そのような事もふまえ、とても興味深いお話でした。(10代・女性)

・とても興味深くもっともっと聞きたいです。とても楽しかったです。話し方も聞き易く良くわかりました。ありがとうございました。(40代・男性)



◆ 第95回「災害救助ロボット～夢の実現に向けて～」

- 小型・軽量化の検索ロボットだけでなく、火災現場での吸水ロボット等も開発してほしいです。水路救助の検索ロボットもお願いします。(40代・男性)
- レスキューロボットが探査・救助だけでなく、災害後の遺体探しの、人にとってつらい作業にも有益なことが分かった。災害時だけでなく、日々のパトロール等にも使えることから、防犯にも役立てられれば、導入しやすいと思った。(50代・男性)

◆ 第96回「植物の機能とヒトの知恵」

- 歴史(世界史)上有名な太平洋戦争が、肥料争奪戦だったというのは、大変おどろきでした。あと、現在、安価で普通に使える肥料が発明されるのに、先人達のすごい努力があった事が分かりました。(40代・男性)
- 盛り沢山の資料の中、宇宙から地球の環境化学から歴史など、幅の広い教養を駆使されての講義は聞き応えのある興味深いお話が有難かったです。硝酸塩が人々の生活を支えているということをよく分かったお話でした。(40代・男性)



◆ 第97回「人と自然が共生した地域づくり」

- 地球温暖化の深刻が問題になっている中で、日本の最大の罪は、“国民の無関心”なのだなど痛切に感じました。自分に直接害が及ばない限りは、自分には関係がないと考える、それが我々国民の本性だということには耳が痛かったです。今日は知らなかったことがたくさんあって、大変勉強になりました。(20代・女性)
- 世界から日本が環境の分野でどう見られているか、知らないで、関係ないと思っていたことが、どういうことだったのかが理解できてとても分かりやすい内容でした。自分も何ができるか考えていきたいです。(30代・男性)

◆ 第98回「スポーツツーリズムと関西ワールドマスターズゲームズ」

- 観光という分野の中に“スポーツツーリズム”というものがあることを今回初めて知り、講演を聞かせていただき、自分自身もスポーツをこれまでしてきたので、非常に興味を持ちました。今回、聞かせていただいた中で、気になったキーワードは自分でも調べてみたいと思います。ありがとうございました。(10代・男性)
- 非常に興味深くおもしろい講義でした。屋久島で自転車を持ち込んで、サイクリングや山登りを楽しんでいる外国人を数人見かけました。スポーツという切口で観光を考えていくとまた違った日本の魅力を発信できるかもしれないと感じました。(30代・男性)

◆ 第99回「否定しないコミュニケーション～子ども家庭支援の実践から～」

- ・沈黙もコミュニケーションだというのは、今まで考えてことがなかったので、これからはそこも考えていきたいと思いました。(40代・女性)
- ・後半のテクニックの部分をもっと厚く聴きたかったです。(30代・男性)
- ・ジョイニング、リフレーニング等、本日学んだコミュニケーションのノウハウを我が子に接する時に使ってみたいと思います。ありがとうございました。(30代・男性)
- ・コミュニケーションの大切なところは、「肯定肯定、絶対肯定」だと実感できました。難しいところもありますが、実践していきます。(40代・男性)



◆ 第100回「わだい浪切サロンスペシャル」

第1部：「データのチカラで子育てが楽しくなるまちづくり」

- ・満田先生と長谷川さんのお話で、大学と地域のつながりの1つのケースとしての「ここからKit・きしふあみ」さんとの協働の経緯をよく理解できました。「こんなことをしています！」の発表だけでなく、その活動が生まれた背景からも他の事例やアイデアの参考になることがたくさんあると思いました。若いお母さんと可愛い赤ちゃんの登壇は、サテライト始まって以来のエポックです。関係者の皆様のご努力にも敬意を表します。(50代・女性)
- ・子育てママが情報収集し、提供するサークルの発想に「なるほど」と頷ける所あり。子育ての生活感そのものを情報としているかな。これをマップにする、すばらしい、拍手。(40代・男性)
- ・子育てにマッピング、オープンデータの利用例を披露していただき、さらにオープンデータの応用例を示していただき大変ありがたい。(40代・男性)
- ・小さな子供さんがいては町を直接ウロウロするのも大変なことだと思います。データを活用し、社会に参加できる機会があることは岸和田市にとっても子供にとってもいいことだと思います、そういうシステムを作られることはすばらしいと思いました。(70代・女性)



第2部：「紀伊半島と西国順礼—縁起・旅・書物—」

- ・ムツかしい内容でしたので、理解不足のところもありますが、ナゾ解きの要素があつてとても楽しめました。今後、西国33ヶ所に触れるとき、今日のお話を思い出しながら楽しめそうです。ありがとうございました。(40代・男性)
- ・とても良かったです。ありがとうございました。少し難しい話でしたが、興味深く聞かせていただきました。自分でも調べたいと思います。(40代)
- ・本格的な内容で、文献を読む楽しみを味わうことができた。史実と虚構の交錯が面白い。文化のネットワークを垣間見た気がした。(50代・男性)
- ・現在、西国33ヶ所をめぐっており、西国順礼のはじまりを知ることは、とても興味深く、これからの巡礼に気持ちの変化が、また気合の入り方がちがってくると思います。貴重なお話をありがとうございました。(50代・女性)
- ・那智と花山院、「山家集」や「古事記」「吾妻鏡」などを元にお話をしてくださったのが、すごくおもしろかったです。西国をまわっているのですが、残り半分は、もっと行く前に勉強しておまわりさせていただこうと思っています。(50代・女性)



3 地域研究事業

目指す姿Ⅲ：地域課題の解決と大学の知的資源と住民の交流をサポートしている

高等教育事業（学部開放授業・大学院授業）や生涯学習事業「わだい浪切サロン」等では必ずしも対応が十分にはできない地域課題の解決支援と住民参加型事業の構築を目的とする地域課題研究型プログラムを2012年度から実施しています。

(1) GIS活用プログラム

サテライト友の会のメンバーが、2015年度後期に開講した学部開放授業「地図で地域をみる発信する」を受講し、地図を地域活動に活用できることを学んだことをきっかけに、地図を使った地域づくり・まちづくりにつながることを目指した取り組みです。

友の会メンバーが主体となってマッピング実行委員会を設立し、府立岸和田高等学校とも連携し、まち歩きやマッピングを進めました。

また、2016年度末に、マッピング実行委員会は発展的解消を遂げ、オープンデータ・GISを利用した取り組みを進める自主学習グループが2017年4月からスタートし、月一回程度泉州地域において、マッピングパーティを行なってきました。（左下写真：作成した岸和田講演の情報マップ）



(2) オープンデータの取り組み

誰でも自由に使える「オープンデータ」を使ったり作ったり考えたりする世界同時開催のお祭り「インターナショナル・オープンデータ・デイ」(IODD)に参加し、「オープンデータソン」を開催しました。今回は、地域情報を市民が自らまちに出て歩き、情報を採取し、採取した情報をデータ化したり、ネット上の地図に反映させたりすることを目的にした取り組みです。

OpenStreetMap や LocalWiki といったツールを用いて、情報は、岸和田市立図書館の協力を得ながら、自分たちでも探し出して、オープン化することをめざしました。

■岸和田おーぷんでーたそん 2018

日時 2018年3月4日(土) 10時～16時

場所 岸和田市立図書館

行龍男氏(岸和田ボランティアガイド)と岸和田城周辺をまちあるき

オリエンテーション 満田成紀 システム工学部准教授

参加者 30名

主催 和歌山大学岸和田サテライト・岸和田市

協力 岸和田サテライト友の会、泉州らへんでオープンデータとGISを楽しむ会



(3) 主権者教育プログラム

18歳からの一票

2016年「18歳選挙権」が話題となりましたが、主権者が育つために大学ができることは何か？
このような考えから、1年間を通じて2つのプログラムを実施しました。

岸和田市と協力し、岸和田市内の公立高校を中心に呼びかけ、高校生の参加を求めるとともに、
和歌山大学生の参加を募り、高校生・大学生がともに学ぶことのできる場づくりを目指しました。

また、今回は、高校教員の協力はじめ、岸和田市立図書館ともコラボや、和歌山大学生企画による
カフェ「coaf」での開催もあり、多くのみなさまの協力を得ることができました。

■プログラムの概要

講師 越野章史 教育学部准教授

協力 岸和田市、大阪府立岸和田高等学校、岸和田市立図書館、クレープ coahu(岸和田)

【開催状況】

☆企画会議

2017年6月10日(土)、8月19日(土) @岸和田市立浪切ホール研修室



●第1回 和歌山大学学生企画

投票に行く意味って？憲法を変えるってどういうこと？

憲法改正について、大学生と一緒に考え、模擬投票してみよう！

2017年11月5日(日)13時半～16時半 @岸和田市立図書館



●第2回 和歌山大学学生企画

選挙に行く意味って？政治ってむずかしくない？大学生や大人と一緒に考えてみよう！

2018年2月18日(日)13時半～16時半 @クレープ coafu (岸和田市)



4 各種連携

目指す姿Ⅲ：地域課題の解決・大学の知的資源と住民の知的交流をサポートしている

(1) 学校教育分野

■地域でのフィールドワーク（経済学部）

2月14日、16日、17日、集中講義「地域調査研究」のなかで、地理情報データを扱いながら現地の観察をし、岸和田駅前通をはじめとした岸和田の商店街の店舗立地と現状と考えました。

(2) 生涯学習分野・まちづくり分野・産学連携分野

■岸和田市情報化推進研修会

5月22日、「自治体の役割としてのオープンデータ推進」をテーマにシステム工学部 満田 成紀准教授が講演しました。



■まちづくりネットワーク岸和田

4月26日、「和歌山大学岸和田サテライト友の会の活動と自らの活動」をテーマに、岸和田サテライト友の会会長 鱧谷納氏が講演しました。

8月23日、「いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らしつづけるために」をテーマに上野山裕士特任助教が講演しました。



(3) 岸和田サテライト友の会の活動支援

岸和田サテライト友の会は、受講者（授業・「わだい浪切サロン」）の同窓会的組織です。今年度は、友の会の主催による「夏季講演会」、第 100 回わだい浪切サロンスペシャルにて、行われたプログラミング体験教室について企画・運営・支援等を行いました。

■第 40 回岸和田市民フェスティバル

（協力：岸和田市住宅政策課・岸和田市立図書館）

岸和田サテライト友の会と岸和田サテライトが協力して出展している市民フェスティバル。今年度は「大地震に備えよう」をテーマに、身近な防災の展示・体験コーナーを設けました。なかでも、岸和田市住宅政策課による住宅耐震実験（「ぶるるの実験」）が関心を集めました。また、岸和田市立図書館の協力を得て、防災のための紙しばいの読み聞かせを行いました。たくさんのお子さんや家族連れが体験しました。

○開催 5月3日（祝）（岸和田市中央公園）

○内容

「大地震に備えよう」

展示と説明：災害時に使える「マイトイレ」の作り方実演・防災用品の展示、

体験：耐震実験「ぶるるの実験」、紙しばい「いなむらの火」と防災絵本の展示

○参加者 約 400 名



■総会・夏季講演会

○開催 7月15日(土) 14時～16時30分(浪切ホール研修室)

○内容

友の会総会・友の会活動報告

講演：「官民連携による公共施設マネジメント～千代田図書館と指宿市道の駅の事例より」

公共施設の老朽化による、建替えや改修、機能集約や解体といった公共マネジメントの実践が必要な状況のもと、行政(官)と民間企業(民)が連携しての取り組みの事例として、官民連携による公共施設マネジメントの先進的事例である千代田図書館と指宿市道の駅が取り上げられました。

○参加者 34名(一般参加者を含む)



■市民活動ステーション「コラボラ」へ参加

○開催 8月26日(土) 10:30～15:00 場所 岸和田福祉センター

○内容

岸和田サテライト友の会&岸和田サテライトが出展いたしました。

災害時に使える「マイトイレ」の作り方や、わだいな浪切サロンやサテライトで開講する授業の案内をさせていただきました。



■第 100 回わだい浪切サロンスペシャルにて、プログラミング体験教室

○開催 2018 年 3 月 21 日（祝日）13 時 30 分～16 時 45 分

○内容

プログラミング体験教室 研修室にて 2 部制

手のひらサイズのコンピュータ「イチゴジャム」や、「スクラッチ」を使ってキャラクターを動かすプログラムを作りました。

○プログラミング参加者 33 名



■友の会幹事会

今年度は、岸和田市民フェスティバルと第 100 回わだい浪切サロンスペシャルの、プログラミング教室への企画・運営支援を主要な取り組みとして、1～2 ヶ月ごとに幹事会を開催し、活発に意見を出し合いながら事業計画を進めました。

「GIS 活用プログラム」も進んでいます。フィールドワークを行い、地域の情報を収集し、収集した情報をインターネット上の地図である OSM(オープンストリートマップ)に掲載しました。



5 組織体制・事務局機能 目指す姿Ⅳ：持続可能な連携組織となっている

(1) 組織的な連携推進

■地域連携戦略ビジョン・アクションプランに基づく事業実施

2014年度、和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会において、「和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン(2014-2023)」が承認されました。

2017年度の地域連携事業については、このビジョンに示す連携の4つの「目指す姿」の達成のために、前年度末に評価シートを用いて検証をおこない、各事業項目についての定量的・定性的評価により抽出した課題を「地域連携アクションプラン(2017-2019)」へ反映させました。



■第20回和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会

8月3日、瀧 寛和 和歌山大学長、信貴 芳則 岸和田市長をはじめとする会員の出席により、今年度の協議会を開催しました。2016年度事業報告、2017年度事業方針および事業計画案の承認に続いて、大学と市の連携事業全般についての意見交換がおこなわれました。(岸和田市役所)

■和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会

地域連携推進協議会のもと、連携事業の企画・運営・調整を担う企画運営委員会を、2017年度は8回開催しました。

- 第1回 2017年5月15日(和歌山大学)
- 第2回 2017年8月1日(岸和田市)
- 第3回 2017年8月8日(和歌山大学)
- 第4回 2017年9月11日(岸和田市役所)
- 第5回 2017年10月5日(和歌山大学)
- 第6回 2018年2月21日(岸和田市役所)
- 第7回 2018年3月9日(和歌山大学)
- 第8回 2018年3月26日(岸和田市役所)

■調整会議

和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会のもと、大学と市の日常的な情報交換と地域連携業務の調整を図るため、月例で担当者レベルの調整会議を実施しています。

■岸和田市協働推進チーム会議

岸和田市自治振興課、政策企画課、生涯学習課、岸和田市ボランティアセンターなどの担当者とともに、情報交換、地域の課題共有、各種事業の調整などの月例会議に参加しました。

(2) 地域連携コーディネーターの活動

■伊丹市立図書館の視察

岸和田市立図書館からの呼びかけでまちライブラリー・ブックフェスタについて視察をおこないました。(2017年7月27日)

■社会教育推進全国協議会主催の第57回社会教育研究全国集会(神奈川集会)

各地の社会教育に関する取り組みについて学びました。(2017年8月26日～28日)

■「子育てが楽しくなるまちをつくろう」プロジェクト

岸和田市教育委員会生涯学習課の呼びかけで、第1回「乳幼児連れのおでかけMAP&子育て情報の循環づくり」に参加し、すでに活動している団体の取り組みについて学びました。(2017年9月26日)

■たんぼぼ家庭教育学級の子育て応援公開講座

岸和田市教育委員会生涯学習課の呼びかけで、公開講座「子育てイライラの救世主がやってくる!! 講師村上三保子氏」に参加しました。岸和田市近辺に住み、子育てをされているお母さん方のお話を伺うことができ、先生からは、子育てについてのアドバイスをいただきました。(2017年9月29日)

■岸和田商工会議所創立70周年記念特別講演会

岸和田市・岸和田商工会議所・池田泉州銀行の産業振興連携事業である特別講演会「夢があるから強くなる 講師川淵三郎氏」に参加しました。ビジョンを持って生きることの大切さについて学びました。(2018年3月27日)

調整会議をはじめ、その他相談等案件があるたびに市と大学側で情報共有を進めています。

(3) 広報活動・各種協力

■ ウェブサイト、Facebook ページの運営

岸和田サテライトウェブサイト・ブログ・Facebook ページにおいて、各種事業の開催案内や実施後の記録公開など、速やかな情報発信に努めました。

■ 岸和田商工会議所『きしわだ所報』連載

岸和田商工会議所の会報『きしわだ所報』に本学教員の連載コラムを掲載しました。

「いつまでも住み慣れた地域で暮らしぶけるために」

上野山裕士観光学部特任助手

(2017年4月号～2017年9月号)



「地域と大学がつながるサテライトってどんなこと？」

西田喜一地域連携コーディネーター

(2017年10月号～2018年3月号)



■ 和歌山大学経済学研究科修士課程修了生（岸和田生）の論説が『税法学 577』に掲載されました。

「米国連邦税法上の「S法人」をめぐる法的諸問題—わが国における小規模企業税制への示唆を求めて—」



■浪切ホール『ナミトモ』

浪切ホール広報リーフレットに「わだいなみサロン」をはじめとする岸和田サテライト事業の案内を掲載しています。

■岸和田サテライトリーフレット

岸和田サテライトの機能、業務をコンパクトに紹介しています。



■メールマガジンの発行

毎月岸和田サテライトに関する催しのご案内やトピックスを紹介しています。

(4) 地域からの問い合わせ対応

2017年4月～2018年3月、電話、電子メール、訪問などによる約165件の問合せ・相談がサテライトオフィスに寄せられました。各問合せ・相談に対して、回答、資料送付、本学各担当部署への照会などをおこない、速やかに対応しました。

<主な内容>

- ・本学教員への指導・助言などの要請
- ・本学学生への地域活動などの参加要請
- ・サテライト開講授業（募集要項、開講内容、大学院への進学など）について
- ・サテライトや学内の事業（「わだいなみサロン」、各種セミナーなど）について
- ・サテライトの業務内容、業務時間などについて
- ・本学の入試（大学案内、一般・推薦・社会人入試など）について
- ・教員免許状更新講習について
- ・その他（本学の教育内容など）

資料編

目次 (2017年度)

A	開講授業データ	22
B	事業告知チラシ	30
C	岸和田市附属機関委員等の就任状況	34
D	和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿	35
E	和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿	35
F	連携ひろばワダイ×キシワダ会員名簿	36
G	和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿	36

資料 A 開講授業データ

2017年度 学部開放授業

【前期開講科目】

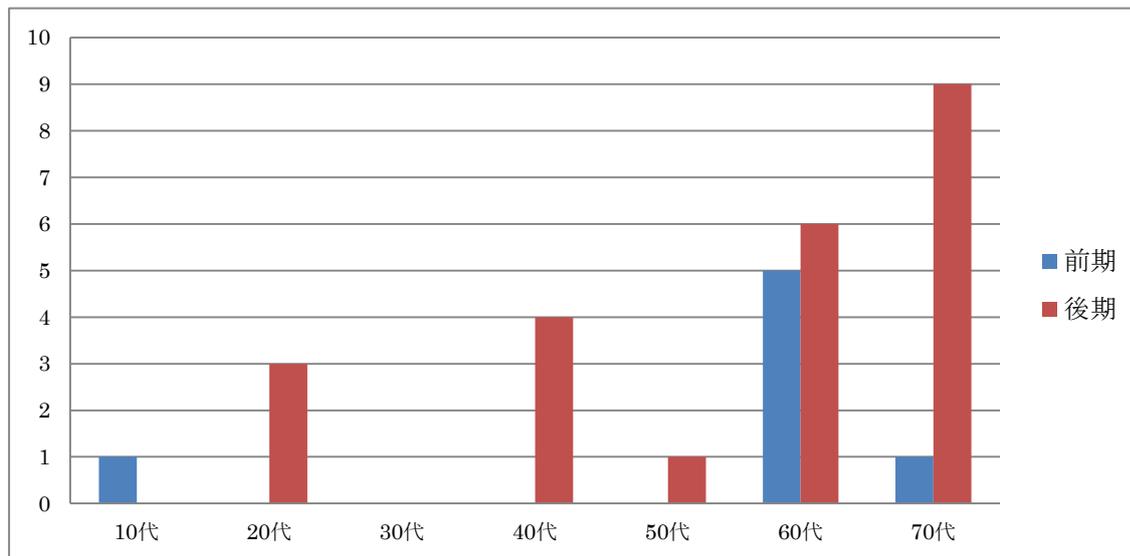
- ・ 泉南の自然とその再生：地形・地質と干潟生物
- ・ 文化資源と地域再生（アゴラセミナー I B）

【後期開講科目】

- ・ 食農地域づくり入門
- ・ 地域課題へのむきあい方

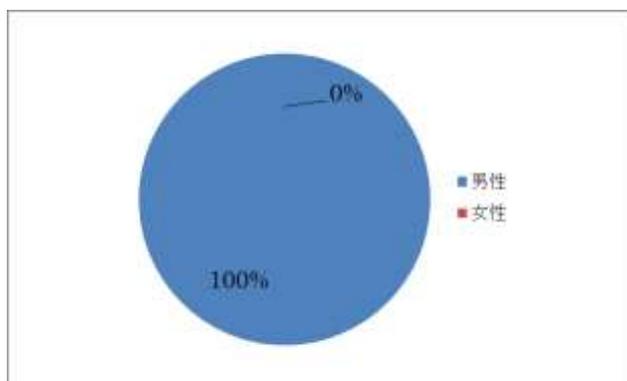
※アンケート回答数 30（内訳：学部開放授業受講者 26 学部生 4 回収率：55%）
文化資源と地域再生（アゴラセミナー I B）に関しては未実施

(1) 受講者の年齢（n=30）（学部開放授業受講者・学部生アンケート回答者）

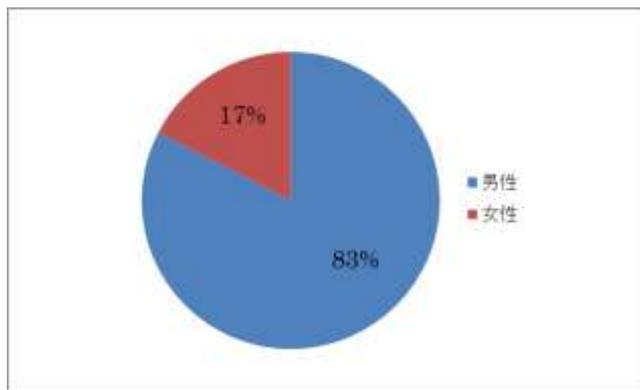


(2) 履修・受講者の男女比(学部開放授業受講者・学部生全員)

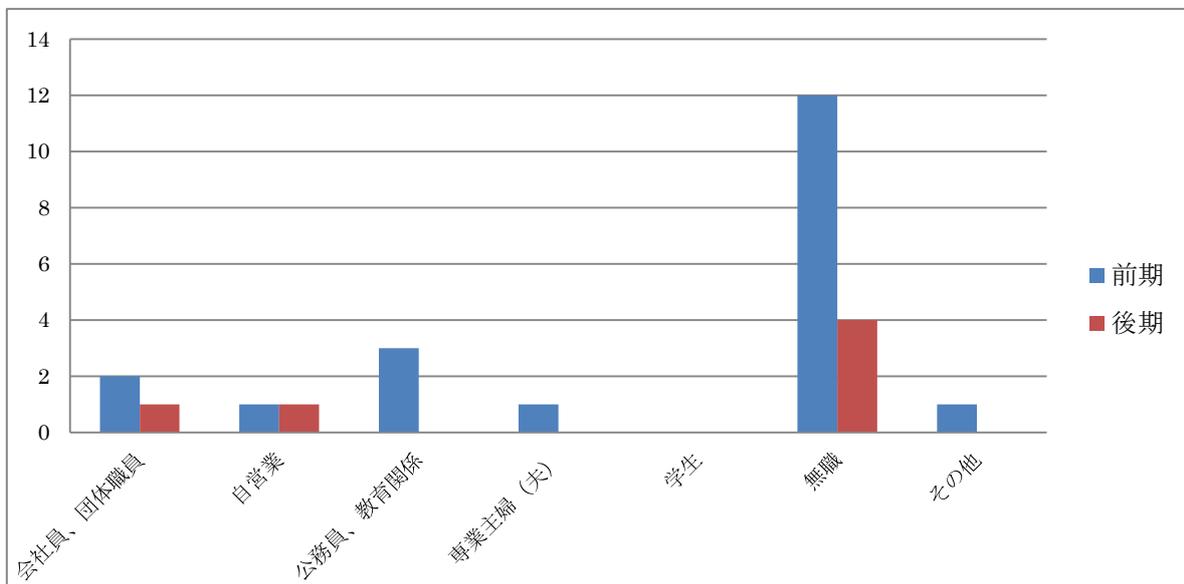
前期(n=7)



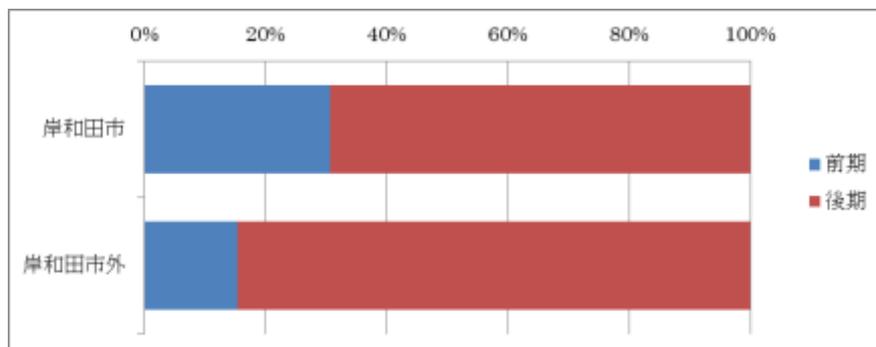
後期 (n=23)



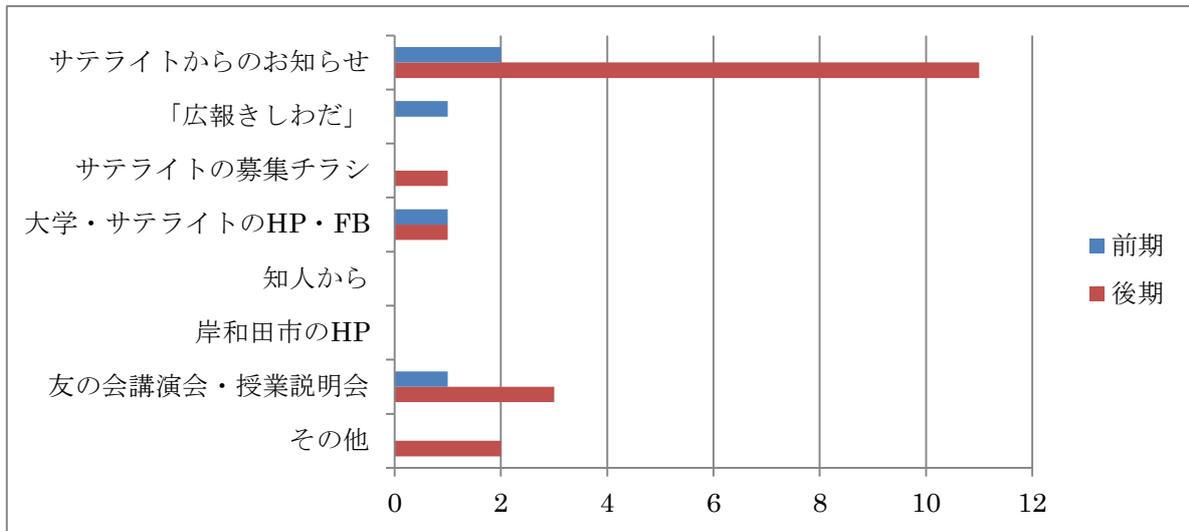
(3) 受講者の職業 (n=26) (学部開放授業受講者アンケート回答者)



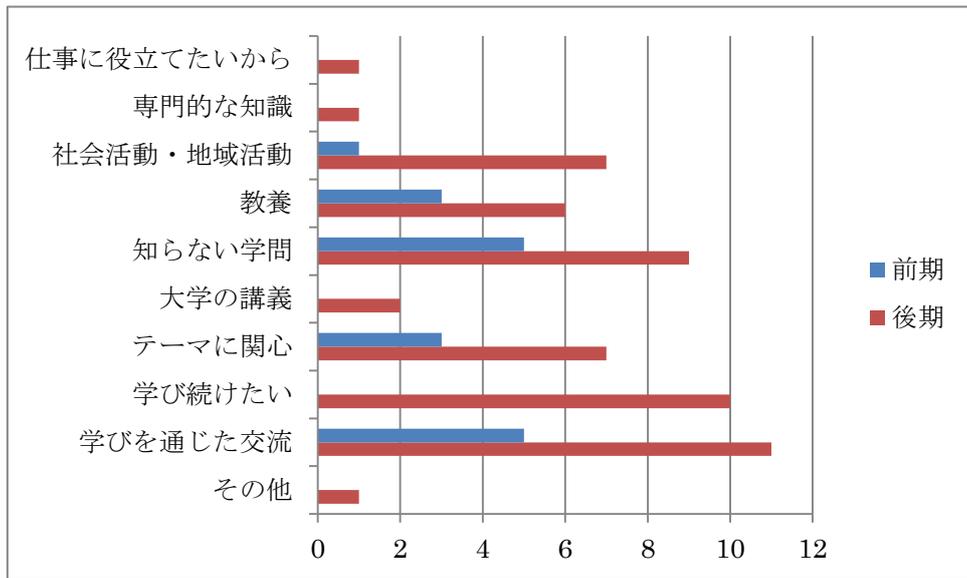
(4) 受講者の居住地 (n=26) (学部開放授業受講者アンケート回答者)



(5) 当該授業の開講を知った手段 (n=23) (学部開放授業受講者アンケート回答者)



(6) 当該授業の受講動機 (学部開放授業受講者アンケート回答者) (複数回答)



専門的知識…専門的知識を得たいから
 教養…教養を高めたいから
 大学の講義…大学の講義を受けたいから

社会・地域活動…社会や地域の活動に役立てたいから
 知らない学問…知らない学問分野を学びたいから

(7) 授業についての自由記述 (一部)

泉南の自然とその再生

- ・シラバスでもうちょっと今後の予定、時間等を明確にしてほしかった。
- ・教員の方々が皆、熱心で、又わかりやすく親切でよかった。
- ・継続性があればよかったと思う。

食農地域づくり入門

- ・自分とは、関係性の薄い内容と思って受講を始めましたが、講義とフィールドワーク授業を通して、今は、重要なこととして思えます。子供たちへもっと食農の教育を工夫したいと思います。
- ・先生方、それぞれの個性が出て、楽しく聞けました。今回 JA の谷口専務や3名の若い生産者の話が聞けてよかったと思います。
- ・日本の農業の現状を知る機会を得ることができた。特に、生産農家の経験、体験談を聞くことができたので、マスプロダクション以外の農業手法があることが理解できた。
- ・普段、関わる機会のない年齢の方々と話すことができて、多くの発見があった。質問等も見ると視点が私とは異なるところで学部開放授業をうけて良かったと思う点です。
- ・関心のある課題だったので楽しめた。講師はあまり変わってほしくない。受講してよかった。
- ・現場にいけるところが少なかったが、愛彩ランドの魅力を伝えていただいたことがありがたかったです。また多様な講師陣によりバラエティーに富んだ授業内容もありがたかったです。またこのような授業も期待しております。

地域課題へのむきあい方

- ・今後とも継続してほしい。How につなげる授業を受けてみたい。
- ・地域課題を解き、考える方法として、様々な方法があることを学習しました。しかし、社会的な事象は、ひとつの方法で解決することは困難で、あらゆる視点からの考察が必要となるだろう。
- ・次回は、問題の解決策を出す方法課題として学びたい。
- ・今回学んだことを PTA の担い手を増やすことに使えそうです。ありがとうございました。

2017年度 大学院授業

【前期開講科目】

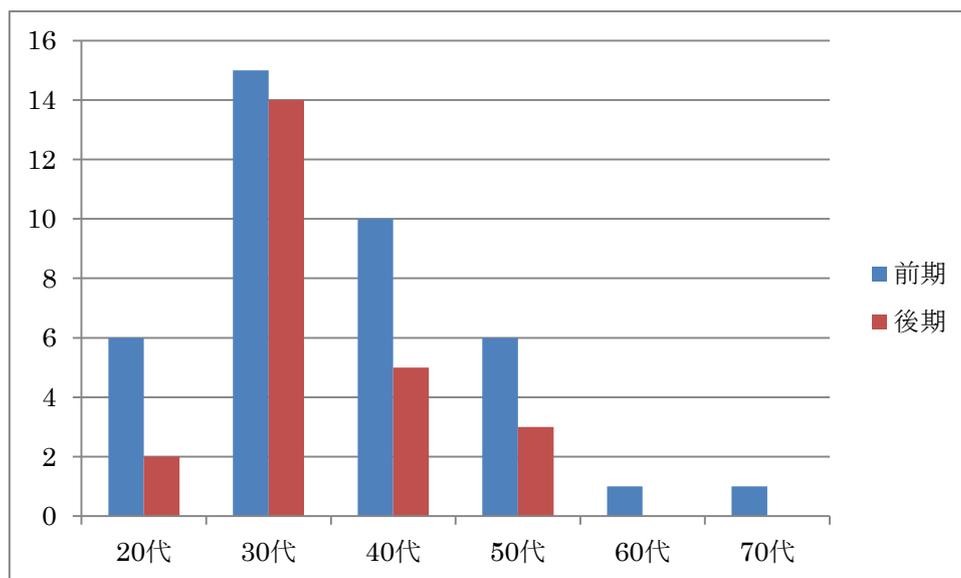
- ・ 所得税法特殊問題
- ・ 法人税法特殊問題
- ・ 管理会計論特殊問題
- ・ 歴史でみる現代経済
- ・ アメリカ政治経済

【後期開講科目】

- ・ 租税法実務特殊問題
- ・ 情報処理論特殊問題
- ・ 制度会計論特殊問題

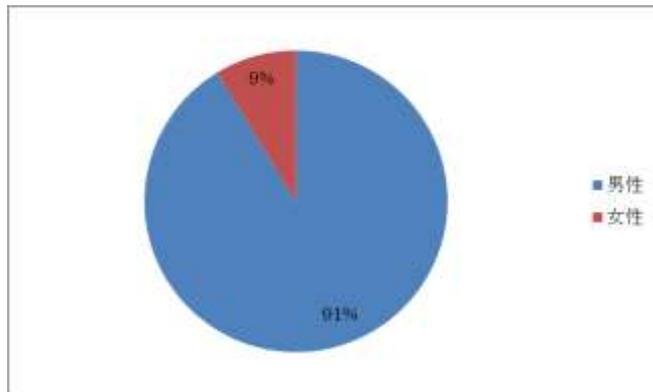
※アンケート回答数 65 (内訳：科目等履修生 20 大学院生 43 未記入 2 回収率 78%)
所得税法特殊問題では実施していない

(1) 受講生の年齢 (大学院生・科目等履修生アンケート回答者) (n=63)

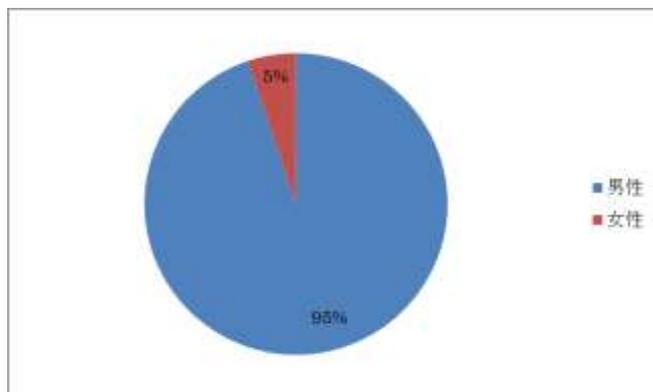


(2) 受講生の男女比 (大学院生・科目等履修生全員)

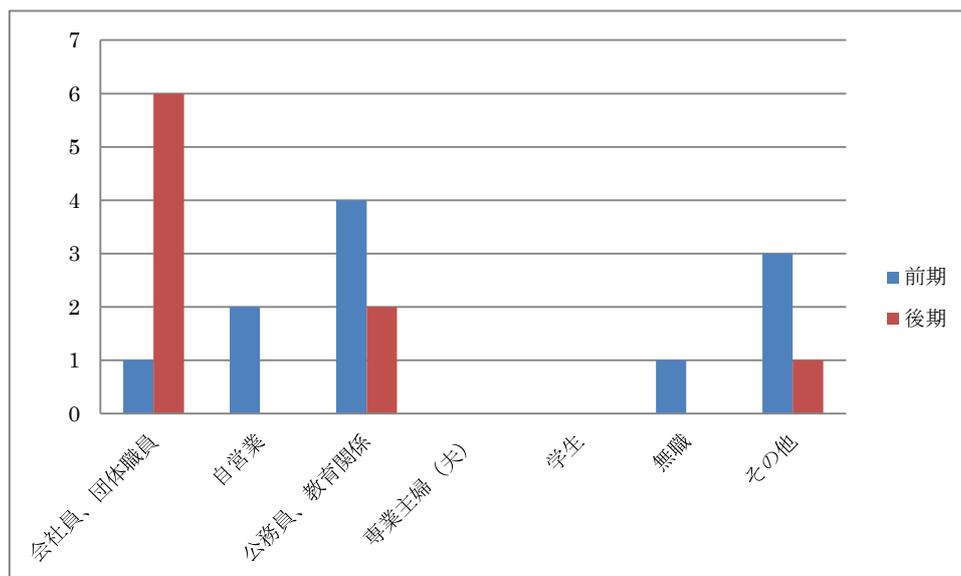
前期 (n=39)



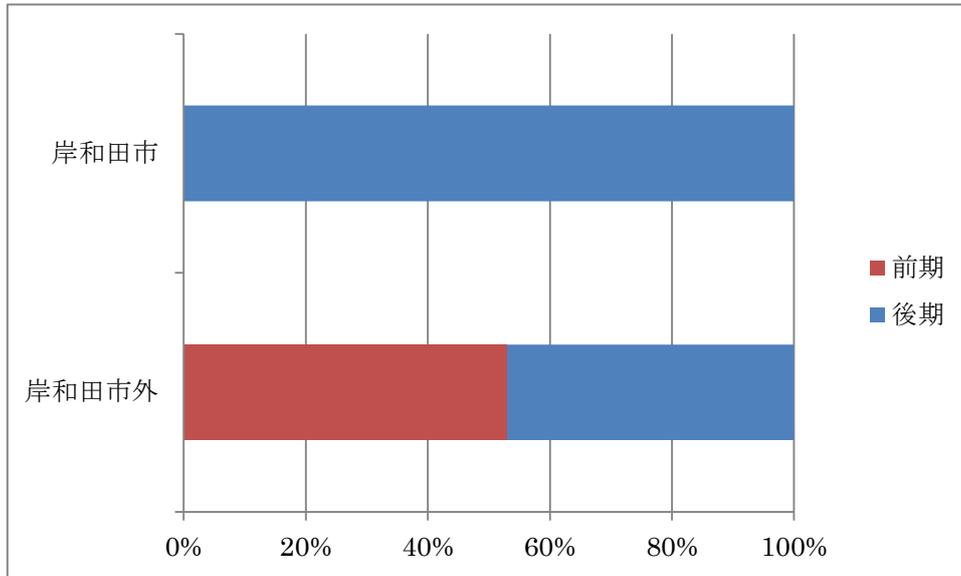
後期 (n=23)



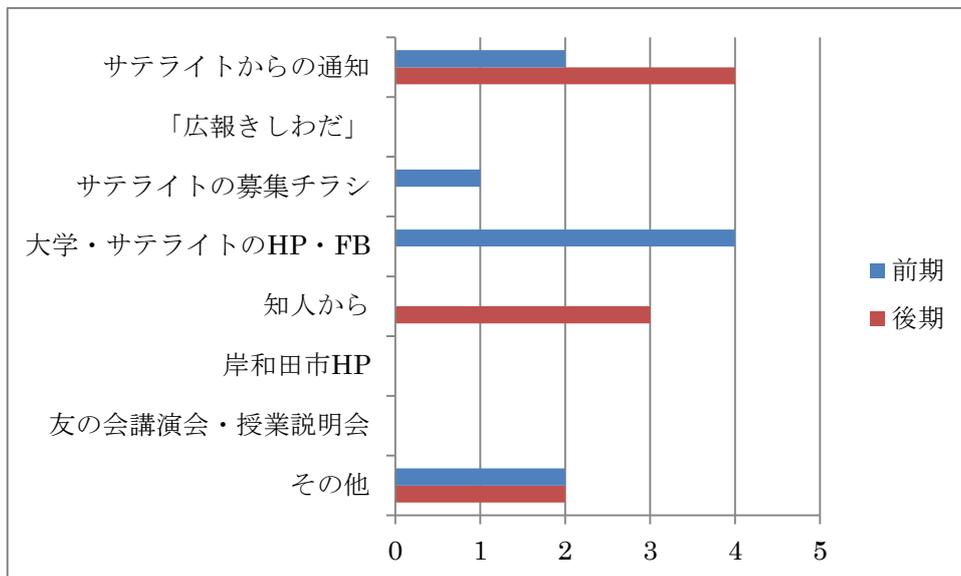
(3) 受講生の職種 (科目等履修生アンケート回答者) (n=20)



(4) 受講生の居住地 (科目等履修生アンケート回答者) (n=20)



(5) 当該大学院授業の開講を知った手段 (科目等履修生アンケート回答者) (n=18)



(6) 授業についての自由記述 (一部)

管理会計論特殊問題

- ・指定図書や研究材料が、上場企業等の大企業が多い中、中小企業に置き換えると、どのような効果や、妥当性があるのかという観点での講義をしていただき、大変わかりやすかったです。仕事に生かせる部分をもさくしながら、授業に望んでいたのも、実際に生かしてみたいと思います。(大学院生)

アメリカ政治経済

- ・トランプ政権に移ったアメリカを舞台に様々な立場の方と議論することができ、アメリカが考えていること、日本の今後をどうするか等、知識を得ることができ、大変有意義でした。(大学院生)

歴史でみる現代経済

- ・人口問題をかかえる日本を戦前、戦後の人口動向と GDP の比較で、将来を転倒することに意義を感じました。また、後半は、植民地対策で覇権国家であったイギリス帝国の歴史を学び、どのように日本やアジアに影響してきたのかを検討した。大西洋からの視点から、日本・アジアをみることがなかったので、新しい発見に恵まれ、有意義な授業でした。(大学院生)

法人税法特殊問題

- ・特にオープンシャホールディング事件など、難しいと感じる事案がありましたが、毎回色々なテーマの授業に参加できるのを有意義に感じ、皆さんの議論も興味深く、先生の説明もわかりやすく、楽しく授業を受けさせていただきました。ありがとうございました。(科目等履修生)
- ・岸和田サテライトに育てていただいていますので、存続をお願いいたします。(科目等履修生)

制度会計論特殊問題

- ・簿記論、財務諸表論の理論をわかりやすく詳しく学ぶことができました。今後の税理士試験受験におおいに役立ちました。(大学院生)

租税報実務特殊問題

- ・いろいろな税理士先生のお話が聞けて貴重な授業でした。(大学院生)

情報処理論特殊問題

- ・データの集合の中で解を導き出すということについて、様々な方式を学びましたが、これは、自身が日常やっていることを具体化して紹介したものだと感じました。つまり、日常で取り組むべき思考や論理方法を学ぶことができたと思います。よって、今後仕事や論文作成において、そのような思考や論理方法を実践していきたいと思います。(大学院生)

B 2017年度 事業告知チラシ

岸和田サテライト社会人受講生募集

大人の教養を身につけたい
専門分野の知識を身につけたい
詳しくは裏面を！
視覚的に知りたい

大学側から受講生募集科目 (2017年度)

- 世帯での実践的経済学**
【科目】本学 専攻 経済学 経済学専攻
【開講】4月16日・18日・19日・21日・23日・25日
【時間】15時～17時
- アメリカの政治経済**
【科目】本学 専攻 国際文化学 国際文化学専攻
【開講】4月16日・18日・19日・21日・23日・25日
【時間】15時～17時
- 法人税法特講問題**
【科目】本学 専攻 経済学 経済学専攻
【開講】4月16日・18日・19日・21日・23日・25日
【時間】15時～17時
- 外債税法特講問題**
【科目】本学 専攻 経済学 経済学専攻
【開講】4月16日・18日・19日・21日・23日・25日
【時間】15時～17時
- 管理会計論特講問題**
【科目】本学 専攻 経済学 経済学専攻
【開講】4月16日・18日・19日・21日・23日・25日
【時間】15時～17時

学部開放授業受講生募集科目 (2017年度)

- 京南の自然と子どもの再生**
【科目】本学 専攻 環境学 環境学専攻
【開講】4月16日・18日・19日・21日・23日・25日
【時間】15時～17時
- 地域活性化と自然環境の持続可能性**
【科目】本学 専攻 環境学 環境学専攻
【開講】4月16日・18日・19日・21日・23日・25日
【時間】15時～17時
- 地域活性化と自然環境の持続可能性**
【科目】本学 専攻 環境学 環境学専攻
【開講】4月16日・18日・19日・21日・23日・25日
【時間】15時～17時

和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市立波切ホール1階 第91回 浪切サロン
電話：072-430-0875

社会人受講生募集（前期）

岸和田サテライト社会人受講生募集

大人の教養を身につけたい
地域のごきもをもっと知りたい
詳しくは募集要項を
ご覧ください！

学部開放授業受講生募集科目 (2017年度)

- 食農地域づくり入門**
【科目】本学 専攻 環境学 環境学専攻
【開講】4月16日・18日・19日・21日・23日・25日
【時間】15時～17時
- 地域課題への向き合い方**
【科目】本学 専攻 環境学 環境学専攻
【開講】4月16日・18日・19日・21日・23日・25日
【時間】15時～17時

和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市立波切ホール1階 第92回 浪切サロン
電話：072-430-0875

社会人受講生募集（後期）

第91回 わだいい浪切サロン

新学習指導要領で英語教育は
どうなる？ どうする？

講師 江利川 春雄 (教育学科 教授)

日時 2017年 4月19日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立波切ホール1階 第91回 浪切サロン

和歌山大学岸和田サテライト
岸和田市立波切ホール1-1 2F
Tel & Fax : 072-430-0875
E-mail: kshwada@pc.riken.wakayama-u.ac.jp

参加無料
申込不要

第91回 わだいい浪切サロン

第92回 わだいい浪切サロン

音をとおして関わる
～音楽療法が私たちに気付かせてくれること～

講師 上野 智子 (教育学科 助教授)

日時 2017年 5月17日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立波切ホール4階 交流ホール

和歌山大学岸和田サテライト
岸和田市立波切ホール1-1 2F
Tel & Fax : 072-430-0875
E-mail: kshwada@pc.riken.wakayama-u.ac.jp

参加無料
申込不要

第92回 わだいい浪切サロン



第1回 主権者教育プログラム



第2回 主権者教育プログラム



岸和田おーぷんでーたそん2018

C 岸和田市附属機関委員等の就任状況（2017年度）

附属機関名	教員名	所属
子ども・子育て会議	米澤 好史	教育学部教授
岸和田市児童福祉審議会	米澤 好史	教育学部教授
建築審査会	村田 順子	教育学部教授
建築審査会	藤田 和史	経済学部准教授
産業活性化推進委員会	藤田 和史	経済学部准教授
総合計画審議会	藤田 和史	経済学部准教授
都市計画審議会	宮川 智子	システム工学部教授
景観審議会	堀田 祐三子	観光学部教授
開発審査会	堀田 祐三子	観光学部教授
緑地保全等審議会	佐久間 康富	システム工学部准教授
岸和田市競輪場施設整備検討委員会	伊藤 央二	観光学部講師

D 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿（2017年度）

和歌山大学		岸和田市	
学長	瀧 寛和	市長	信 貴 芳 則
理事（地域連携、企画、評価担当）	遠 藤 史	副市長	大原 好照
理事（教育、学生、入試担当）	石 塚 互	副市長	根来 喜之
理事（研究・国際担当）	呉 海 元	教育長	樋口 利彦
理事（総務・財務・施設担当）	山口 良文	魅力創造部長	津村 昭人
副学長・生涯学習部門長	足立 基浩	学校教育部長	谷 桂輔
COC+推進室長	金子 泰純	生涯学習部長	濱上 剛志
岸和田サテライト代表	藤田 和史	企画調整部長	藤浪 秀樹
研究・社会連携課長	千葉 清行	企画調整部企画課長	上東 東
学務課長	堀内 伸也		

E 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿（2017年度）

和歌山大学		
副学長・生涯学習部門長	足立 基浩	代表委員
岸和田サテライト代表（経済学部准教授）	藤田 和史	代表委員
研究・社会連携課長	千葉 清行	
研究・社会連携課副課長	西川 博紀	
学務課長	堀内 伸也	
学務課生涯学習係長	森本 充昭	
岸和田サテライト地域連携コーディネーター	西田 喜一	
特任職員	中西 浩実	
岸和田市		
企画調整部企画課長	上東 東	代表委員
企画調整部企画課職員	蓮井 睦美	
企画調整部企画課職員	井元 智美	

F 連携ひろばワダイ×キシワダ 会員名簿（2017年度）

	団 体 名
会員	いずみの農業協同組合
会員	岸和田商工会議所
会員	大阪鉄工金属団地協同組合
会員	岸和田市観光振興協会
会員	岸和田市立浪切ホール
会員	特定非営利活動法人ラヂオキシワダ
会員	和歌山大学岸和田サテライト友の会

G 和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿（2017年度）

職 名	所 属	氏 名
サテライト代表	経済学部准教授	藤 田 和 史
地域連携コーディネーター	学務課	西 田 喜 一
特任職員	学務課	中 西 浩 実
事務補佐員	学務課	梅 田 由 美

和歌山大学岸和田サテライト事業報告 2017

(平成 29 年度)

発行日 2017 年 4 月 1 日

発行 国立大学法人和歌山大学岸和田サテライト

〒596-0014 大阪府岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

TEL&FAX : 072 - 433 - 0875

<http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/>